京城新報

人の一生は重き荷を負うて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久鎭一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話六六三番　振替貯金口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町二丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南紺屋町七番地

電氣事業と動力

立川勇次郎氏談

我邦に於ける電氣事業は未だ〳〵幼稚なものである之れから此の空中の征服といふことは何れ程盛んになつて來るか分らない其所で府縣の各地方に踏襁の電氣事業が起りつゝあるが從元の發電發法に就ては如何なる方法に依るべきか一定の調査が出來てゐない近來は水力電氣が凡ての裝置に優る經濟的の進歩せる發電組織の樣に解されゐるけれども而も最近の調査に依ればモンド瓦斯發電が最も進歩せるものであることが知られ同時に水電裝置必ずしも優良であると言はれなくなつた現に今回鐵道院にて市內の高架線に使用すべき目的を以て巣鴨に建設中の發電所は此のモンド瓦斯裝置で之れは東京鐵道のスチームタービン組織と共に最も進み且つ最も經濟的に新らしき現下の發電方法である勿論地方の狀態に依り或は石炭が水力に優り水力が瓦斯に優ることもある而も水力凡てを超越すべしと信じて他に善良なる方法の存ずるにも係はらず尙は且つ之れに賴まんとする傾向のあるのは甚しき誤解と思ふ目下余は電氣協會の爲め全國に於ける發電所に就きて其の經濟と動力との關係を調査中であつた是れをモンド瓦斯水力スチームタービンの三種に區別し其專門家を委員とし余自ら委員長となつて漸く一萬馬力に對する經濟と發動力との平均を調査し終たから近く世に發表する積りであるが此の調査は明らかにモンド瓦斯の凡てに優る事を證據立てたのである又引續き五千馬力、千馬力、百馬力といふやうに調査し行く積りであるが是とても決して水力優るべしとの教訓を與ふるものではあるまい必ずしもモンド瓦斯の有功なのを證するであらうと思ふ茲に擧げた鐵道院の發電所は即ち余が此の調査に基いて設計されたものである

余の調査する所は即ち發電用原動機の調査と名づくるものである此の調査にして成功したならば府縣に於ける電氣事業家の將來其地に於て執るべき方針も明らかになるであらう故に水利の不便なのも電氣事業の障碍とはならぬ石炭の不足若しくは高價なのも其地方に依て阻害とはならぬ規模の小なるも自由に之れを設置することが出來るのである今や全國の鐵道も經濟と事情の許すあらば皆電力に依て旅客貨車の聯絡を計らんとする時である即ち電氣事業なるものは將來益々勃興せんとする所の工事である余の調査は未だ數學を以て示す機會には至らないが其の之れが世に現はるゝに及ばば人を益し事業を益することは決して尠なからぬことであらうと思ふ地方當業者も宜しく之れに留意せられんことを希望する

●愛國婦人會の産業奬勵

朝鮮に於ける愛國婦人會は駐剳軍人遺族傷病者の慰問救護の外日鮮婦人の親和啓發に資する事項を舉行することゝなり居たるを以て鎭南浦に於ける愛國婦人會委員部にては朝鮮婦人に産業を授くる爲め機業傳習所を設置し管內各面より募集したる婦人傳習生十七名の入所を許し去る十日開所式を舉行したるが右は管內に於ける木綿は主として自家用品にして各面到る所製織しつゝある木綿産額約一萬六千疋餘價格亦約二萬二千餘圓に達し各種工産品中主要なるものにして一般住民の經濟上其關係頗る大なるも其製品概して粗惡なるを以て該品の改善は一般住民の漸次精品を嗜好するの傾向あるともとに刻下の急務なるに依り同委員部にては曩に殖産工部に申請して「バッタン」式織機拾臺の無代配布及其筋より經費の補助を得て今回の設立を見るに至りたりと

●李王と產馬組合

盛岡市產馬組合役員松本勘次郎氏は同地有數の好馬家にして現に產馬改良の事業に就ては鋭意盡粹しつゝあるものなるが昨年福岡に開催されたる九州各縣聯合共進會に盛岡產馬組合を代表し十數頭の馬匹を出品して非常なる好成績を博し其の歸途馬匹移出研究の爲め當地に立寄り時の第二師團稀崎獸醫部長石井少將等の贊成を得て暫時當地に滯在各種馬匹の研究を終へ歸省し爾來李王殿下に名馬を献上せんとて撰擇中なりしも時恰も日韓併合行はれ李王職の制度尙設定せらざりしを以て一時は中止の姿に在りしが今回愈々寺內總督の承認を得て李王殿下に献上する事になりたり同馬は何れも南部產にして二十日夜當地に着したるが一は白瑞と稱し松本氏より一は金扇とて盛岡產馬組合より献上するものなりと因に二十一日總督及中山武官の檢閲を經て一兩日中に献上の手續を了すべしと云ふ

●落月島鰕漁狀況

全南落月島にては目下鰕漁の盛漁季にて出漁朝鮮船は六七十隻に達し珍島及び緊嶋よりの買出船十餘隻あり漁季は每年二月に始まり八月に終るを常とせるが本年の漁撈高は昨年と同等位なり昨年中は漁撈中に數回の暴風ありたる爲め漁具を破損せしめ漁獲物を投棄したる爲め其損害も僅少ならざりしが本年は幸ひに天候良好なる爲め三割以上の收益ある見込みなり漁獲物は直ちに捕漬として珍島智島木浦の各地に輸送す昨年中の鹽水揚高は一萬五千圓に達し純益八千圓餘に上れる由因みに捕漬一壺の販賣價額は一圓なるが是に要する鹽を一個の元金四十錢を扣除するも猶ほ一壺に付き六十錢の收益を見ると云ふ盛漁季中は一時的に酒幕等を營むもの諸方より集まり來り不時の殷賑を呈し昨年の如き種々の警察事故を惹起したるも本年は同島に監視所を設け巡査補を派出し居れるを以て何等の事故もなく漁民等は大いに喜び居れり猶ほ同島民は殆んど半農半漁に從事するものにして島民の語る處に依れば本年の如き食物の窮乏を告げし爲め一時草根木皮を常食さしたる事あり近來に至りて益す困難となり未だ何早なれども麥の收穫に從事しつゝありとの事なり

ウエルス

召使れ初

第八十四回　墨法師

澤野國尾が此奧に於て勢力を爭ふに深き原因ありき、澤野は前にも記せる如く奥方御入輿の時、御實家方淺井讃岐守より付けられたるなればその年功ゆの忠義心、國尾よりは一日の姉なれど、近頃は奥方御寵愛、國尾の上に移りて、何事にも國尾國尾と召させたふが、澤野は此上なき不快なりき、然も奥方がうの身幼少の時より側近く仕へて、實家方より付き添ひ來りたる澤野を疎んじ、何故國尾を信用取り立つるに至りしかは、此處に一つの仔細あり

ろは外ならず、奥方御腹に御出生あらせたる富貴姫君と、數年前まで御部所殿御寵愛を一身に集めて、飛ぶ鳥も落すほどの勢ひありし中臈唐橋の生みたる政姫との間に、やかましき相續問題起り居れるに就いて、奥方は深く國尾の異心を賴ませ玉ふ處あればなりき

唐橋はもと澤野の部屋子なりしを、周防守殿御目に止りて、中臈に昇進、程もなくれ手の付きたるものなれば、澤野との關係は宛ら血を分けたる孫兒の如くなりき、その頃富貴姫はまだ生れさせず、天にも地にも掛けがへなき周防守樣一粒胤なればとて、奥方も政姫を大切に御扱はせありたるが、政姫の出生に後るゝこと一年、奥方も亦懷妊ありて、安々產の紐を解かせたるは富貴姫なりき、御腹御出生の姫君はさぬ間こう、皮一重を隔てたる政姫と隔き愛あらせたるが、血を分けたる御實子御出生ありて後は、偏に此姫に愛情を注がせて、政姫の事は口にだも出し玉はざりき、されば今まで大空にかゝやく月の如く人々に仰がれたる政姫は、富貴姫御出生に由りて日の前の月の如く光りを減じさせられ、少くも奥大半の勢力信用は富貴姫の爲めに奪はるゝ止むを得難き運命に臨ませき

奥方の爲めに富貴姫は御實子なれど澤野の爲めに政姫は孫も同然なりき、今まで下にだも置かれまじく人々に敬ひ册かれ、御身上動きなき御世繼と定まりてありしが、今は富貴姫御前に心を傾くるもの多くなりて、澤野の胸は安からず、女心の淺ましく富貴姫を憎むにつけて、今までお日樣とも賴み奉りし奥方までも恨しくなりぬ、れ中臈のれ腹には生れさせたれど、正しく御前御胤なり、正しく御當家御總領なり、五萬四千石松平のれ家はこの姫君の御手に握らせではなるまじとの心彼女の胸に湧き返りぬ

奥方が三十年來忠義の心比類なかりし澤野を遠ざけたまひしは此爲なりき國尾を憎く恨めしく思ふは、彼が只管富貴姫をのみ大切にして、兎もすれば政姫を袖にする形跡あるを知ればなりき

國尾は常に云ふ、政姫樣は御總領に生れさせたれど中臈れ腹、富貴姫樣は御年下なれど御本腹なり、万々が一政姫君に御養子ども迎ゐさせて、御當家相續の事あらば、豊は悉く暗黒なり、れ家の光りは忽ち滅却せん、御當家井家へ對せられて、此儀尤も然るべからず、富貴姫樣御成人の後、御養子を迎ゐさせ、而して後、立派に御相續の御沙汰あるこそ、天地始まりてよりの定めなり

この爭ひれ奥全体に亘りて、面は美しき女中共の心を鬼にするなり、凡そ蒲田殿れ奥にありて、高き賎き役を勤むるもの、富貴姫君の味方ならずば政姫君の加擔人なりき、國尾の部下ならずは澤野の配下なり

斯くして紛擾に紛擾を重ね行く、周防守殿れ薄々此事を知らするが故、男子一人欲しと願ひたまへるなり、誰の腹にても厭ひなし、男兒出生ありたらば、この爭ひは自然に消滅し行くべきなり、五十近き御身とならせて、容貌美しきを求めたまふは、この要求を滿たさせたまはんれ心ありと知られたり

京城新報

二部教授を排せよ

京城民會は、民團立各小學校尋常科一二學年兒童に限り、當分の內午前午後の二部に分ちて教授を實施する事を議決せり。二部教授なるものが元來教育上變則に屬するは、職員諸士の既に知り居る所なるに拘はらず、此議決を見るに至りしは、要するに現在小學校の設備が同一時間に全部兒童を收容して教授をなす能はざるものあるに起因し事情上洵に已むを得ざる也、而して民團理事者は此教育上の一大缺陷を補はんが爲に、龍山及び鐘路に尋常小學校を新設し、併せて櫻井小學校に增築工事を施こし、之に要すべき資金十四萬二千圓餘は民團債を起して支辨せむとするの案を具し、民會に提議今尚民會委員會の手にて審査中なるが、職員諸士に於ても內地人就學兒童が年一年と增加し終に今日の如く校舍の狹隘を告げ好まざる二部教授も之を施こすの余儀無きを認めたる跡なれば、民團理事者の提案に就て其大体に於ては異論なかるべきも此機會に當つて吾人が民會に向つて切に望まざる可からざるものは、現今に顧みて將來を慮り精密周到能く內地人教育の爲百年の長計を樹て、再び二部教授を繰返すの不幸なきを期するにあり。蓋し國家の消長は國民教育の振否如何に關係を有せることは敢て喋々を須ひずとも何人も之を解す、殊に國民の義務教育費を擧て國庫支辨となし以て其普及を期せんとする事我教育界多年の定論となりをるに徴しても義務教育の忽せにすべからざるを知るべし、況んや新領土に住み將來新附の民に對しては其模範となり、且つ國民進展の先驅となる可き一大重責を雙肩に擔ひをる兒童の教育は一層注意を要すべきものあるに於てをや、然れば新領土に在る兒童の父兄は素より、爲政者及び任を教育に享る者或は民團當局者等は毎に心を爰に傾け苟且にも遺漏を見るなからんことを念とせざる可からず、吾人此見解に因て絕對に二部教授を忌む二部教授が初學兒童の智能啓發を遲からしめ、兼て不愉快の念は二六時中兒童の腦裡を離れず事の害あるも至なる事は、一度び二部教授を試みし教育家の齊しく唱道せる所なり、若しそれ疑ふ者あらば、之を教育者に質せ、幾多の實例は自ら疑團を氷釋せしむるものあらむ、吾人か京城民會に向つて、再び二部教授を繰返すが如き事無き樣今に當つて熟慮と考察を要すと望みしも亦所以なしとせむや。民會に列せる諸士は是れ民團の先覺者なり、衷心民團に盡しつゝある人なれば吾人の言を俟たずとも、夙に此點に着眼し居れるを信ず、諸士の力に依つて吾人の言ふ所をして一の杞憂に終らしめば、是れ吾人のみならず民團の幸福なり。

濟生院の設立

總督府は南鮮に於ける孤兒の養育、盲啞者の教育及瘋癲者の救療を目的として、京城に濟生院を設立せんとす、地方に於ける慈惠醫院といひ、此濟生院といひ、共に我仁政の表現として、鮮民の化導上必要のものたるや吾人之を認むも、由來鮮人は惰情放逸業に努めざるの僻あり、併かも他に倚りて活きんことを冀ひ、自ら活路を開くに懶きは彼等社會の一大弊習なり、故に彼等の中には慈惠醫院や濟生院の設立を見て、遊んでも病を治する所を得たりとふ誤解を生じ益々其習性を發露せんとするもの無きを保せず、これ爲政者の最も意を用ふべきものならざらむや。

東京電報（廿二日著）

戴冠式と祝賀

二十二日は英國皇帝陛下戴冠式當日に付當地駐在英國大使館にては午前十時より各宮殿下樞密顧問官桂首相以下各大臣各國海軍大公使其の他文武官民數百名の祝賀を受け尚は東京市にては尾崎市長市を代表し祝賀狀を奉呈し又江間市會議長は市會を代表し祝賀狀を奉呈したり

▲鳥居阪邸の晩餐會　李王世子殿下には二十一日夜七時より麴大寺侍從長松方公其の他宮內省各高等官數十名を鳥居阪御用邸に招待し晩餐の饗應ありたり

▲北白川女王御參拜　五月六日御誕生あらせられたる北白川宮女王殿下には御肥立宜しく益御健康に渡らせられ來る二十四日は五十日に達するを以て皇族遜位會の規定により今日午前十時母宮房子內親王殿下御同伴參內 賢所皇靈殿神殿御參拜の後兩陛下に御對顏あらせらるゝ筈

暴風雨の通信機關

今回の暴風雨に罹りたる通信機關の損害は稀有の事にして甲信、北陸、東北、各方面にも多少の故障ありしが尤も甚しきは東海道方面にして頗る困難を感じたり殊に大防線の如き高等線等も一時停滯したる有樣なりしが今朝に至り九州の一部のみにして他は全く開通したり

▲鍋島侯以下に下賜　宮中顧問官鍋島侯爵以下宮內官、御用掛り五十四名に對し夫れ〲服地の御目錄御下賜の御沙汰ありたり

安奉線工事（遞信省達）

安奉線は安東縣、鷄冠山間四十二哩の假線及び石橋子、本溪湖間四十七哩の改築工事は何れも竣功し過般來假線列車運轉を開始しつゝある所鷄冠山、本溪湖間にては基礎工事殆ど竣功を告げ至難工事も進捗し全線の隧道工事も全部導坑の貫通を了し目下側壁石垣アーチ煉瓦積等の諸工事に着手しつゝあり架橋工事に至り其他停車場の新設乘降場及び貨物積卸場設備の如き大部分竣工せるを以て本年中には全線竣工の見込なりと

各地水害公報

各地の水害に付內務省に達したる公電によれば左の如し

△栃木縣知事發　十九日午前八時暴風雨となり縣下の被害は午後四時迄に各地の報告を調査するに家屋全壞十五、半壞八其他建物全壞二十八、半壞十、溺死一、負傷三其他電柱、板塀、農作物等の損害多大なり

▲福島縣知事發　十九日朝來の暴風雨にて家屋潰れ九、新築中の小學校一、浸屋五、死者一、負傷者二、行衞不明者二十一名目下調査中なり但し會津方面には被害なし

▲三重丸の遭難　大阪商船會社汽船三重丸は去る十九日午前十時和歌山縣西牟婁郡串本港を發し田部に向ふ途中鹽屋村沖にて暴風雨の爲め進路を誤り遂に暗礁に乘り上げ船体を破壞したるが乘客六十名船員三十一名は漸く救助せられ人命を全ふし得たりと

雜報

總督の學校巡視

寺內總督は藤田副官中山大佐を隨へ二十二日午前八時中部校洞普通學校を視九時三十分光化門通り法學校に臨み職員及生徒に訓示を與へ午前十一時退校せられたり

英國教會の祈禱式

英國皇帝陛下既報の如く二十二日は戴冠式當日なるを以て同日午前十時より當地貞洞なる英國教會堂に於て當地駐在同國總領事代理ハイドレー氏を始め各國總領事及民間代表者百餘名參列莊嚴なる祈禱式を奉行し同十一時式全く終了したるが當日は總督府より外波武官及小松外事局長の兩氏參列したり

英領事館園遊會

當地駐在英國總領事館に於ては二十二日戴冠式祝賀は都合により正式に受けざる事として同日午後四時より總領事代理ハイドレー氏は同國領事館に奉祝園遊會を催ふし寺內總督を始め各部長官明石警務總長各國總領事及官民數百名を招待し盛會を極めたりし

慈惠醫院成績

地方慈惠醫院は窮民の醫療機關の缺乏を補ひ窮民の病者を救濟する目的を以て慈惠醫院を四十二年十二月清州、全州、咸興の三ヶ所に新設し更に四十三年九月水原、公州、光州、大邱、晉州、海州、春川、平壤、義州、鏡城の十箇所に增設し從來醫治を受くる能はざりし地方一般患者を匡救し殊に窮民患者に汎く施藥救療の惠澤に浴し各地方人民は擧て仁慈博愛なる新政に對し深く感謝の意を表し開院當日より來て診療を求むる者陸續相踵ぎ尙醫院設立の趣旨一般に周知せられ醫療の效驗着々事實の上に現はるゝに及んで信賴の度愈々篤く爲に一般精神上に及ぼしたる感化は實に尠少ならざるが如し朝鮮に於ては古來の風習として婦人は深く內房に屏居して他人に接見するを避け殊に醫師をして肉体に觸れしむるが如きは其最も忌避する處なりしが慈惠醫院の治療顯著なりとの事遠近に傳はると共に續々婦人病者の來院治療を請ふ者あり且內診を求むる者も少なからざるに至りたるは喜ぶべき現象と謂ふべし今各院開始以來取扱ひたる患者數左の如し

	員數（人）	一日平均（人）
京畿道	一七、四三九	二六一
忠淸北道	一二、二五七	二二五
忠淸南道	一〇、〇〇八	三七九
全羅北道	一七、六〇八	三二四
全羅南道	五、四八五	二二〇
慶尙北道	七、六〇五	二八二
同　南道	五、三三七	二〇五
黃海道	六、七〇六	二〇一
江原道	二、二九四	三八三
平安南道	六、二七二	二四七
平安北道	六、九三五	二六七
咸鏡南道	三、一三三	二五一
同　北道	四、七六四	二〇七
計	一〇五、七七四	二五四

柴田總裁水原行

柴田拓殖總裁の一行は二十二日朝南大門驛發水原に向ひ同地勸業模範場及農林學校等を視察し午後歸京したり因に一行は二十三日夜當地發鐵路釜山を經て歸東すべしと

最近各地の漁況（其一）

朝鮮各地に於ける最近の漁況を記せば左の如し

▲元山　漸次漁期に入り鯛漁業は五月中旬より始まり五月中の漁獲は一萬四千三百尾にして前年に比し約二倍以上の豐漁を見たり鯖漁業も本日始めより十日迄での間に一萬五千五百尾の漁獲あり其の他海參鮑の潛水器採取等盛んに行はれ永く沈靜なりし同地漁業界は俄然活氣を呈せり

▲群山　同地昨今の出漁場は蝟島、竹島、與食島及古群山島にして漁獲魚は石首魚、鯛、鰆、太刀魚等は日に陸揚を增加しつゝあり而して近時同地朝鮮人の多くは日本內地人の漁獲方法を見習ひ其の有利有益なるを悟り自然日鮮人共同事業に當る傾向を示し來れるを以て同地漁業界は將來最も有望なりと

▲木浦　目下鯛及石首魚の漁獲盛期なるを以て椒子島及竹島附近に九州各縣下より來集する漁船凡て六十隻以上なり一般に豐漁なる模樣なり

▲釜山　昨今の漁獲は鯛鯖太刀魚等にして最も繁忙を極めつゝあり同地五月中に於ける水揚高は七十六萬〇四百八十六圓にして之れを前月に比すれば七萬四千九百三十九圓の減少を見たり然れども之れを前年の同期に比すれば尙は七万八千百七十七圓の增加を示せり

▲仁川　先月中旬より愈々漁期に入り殊に時候に變化なかりし爲め同月中の漁船の回航數も七百二十隻以上にして鯛其他にて水揚總額三万七千餘圓にして前年の同期に比すれば八千餘圓の增加をなせり

群山通信　又水生

盛水神君足下　足下が當港を出發せられし後別に變れる事も無之候得共數日前當港の▲群山日報は其社內の紛擾の爲め訴訟沙汰となり終に其筋より設立條件に違反せりとの理由の下に解散を命せられ其發行を休したるは一時世人を驚愕せしめ目下當港は暗黑世界となり大に不便を感じ居申候新聞紙が如何に社會に必要缺く可からざるものなるかは斯かる折に際して最も切實に感じ申候又昨今當港の▲經濟界にありては移出貿易は例年の例を追ひ閑散季に入り地方より米の廻着著しく減退し云へば買ふに米なく賣るに米なき狀態となり市場は僅に小口の集めものにて取引を持續し埠頭の光景の如きこれを出穀最盛時期に比すれば秋風落莫とでも申すべきかの感有之候之に反して▲輸入貿易は例年なれば此頃は矢張閑散季となるに拘らず本年は前月の輸入貿易額の如きこれを前年の同日月に比すれば五割の激增を示して未曾有の盛況を呈し斯界の活氣と申たら素晴らしきものに候然り而して此等貨物の大部分は全州とか江景とか或は苗浦とかの地方に需要せらるゝものにて從來になき新現象にて全く左記の諸原因により現はれし事實に候

▲第一、全北、忠南、兩道に於ける內地人の增加に基因せるものにて今茲に具体的數字なきも稅關其他に就て聞けば本年一月より五月迄の來住者は四十三年中の來住者よりも遙に超過せりと云ふ以て本年に於ける內地人の增加を知るに足ると同時に一面輸入雜貨の需要を惹起したる次第に候勿論此等內地人は九分通り農事の經營に從事するものに有之候

▲第二、昨秋の米作は非常に豐穰なりしと加之米價は一昨年に比し平均二圓以上高値の爲め一般地方農民の財囊裕にして購買力大に增進せるに起因せるもの〃如く現に本年は昨年に比し鮮人向雜貨一般に賣行非常に宜しきは何よりの證據に候

▲第三、昨年以來各所に於ける水利工事諸官衙の工事及湖南線中大田江景間鐵道工事の開始乃至鐵道材料運搬等の事業一時に起り人夫賃其他の散布は直接間接關係市邑村落を潤し現に大田江景間及江景群山間の如き毎日四千五百人の人夫を使役し其人夫賃のみにても毎月五萬圓餘を支拂ふとの事に候へば以て同地方が如何に好景氣なるかを知るに足り申候

▲第四、恩賜金の交附にて之れを第二第三に比すれば其影響極めて細微なるが如き觀あるも大体より觀察すれば直接間接に一部鮮人の購買力を增進するもの〃如くに有之候

▲之を要する現時の狀態より觀察する時は今後輸入貿易は季節品を除き輸入減退するが如きことは斷じてなかるべく而して又今日迄の經過によれば麥は豐作米作は二三日來の降雨にて當地方畓全く植付を了したる模樣なれば今後天變地異の災害なき限り本年の米作は大豐作群山港萬々歲ならんと一般に觀測し居候早々

仁川第五回民會

仁川民團役所にては來廿六日第五回民會を開催する筈なりと云ふ

海老名氏一行入京

東京本鄕教會牧師海老名彈正氏は大坂天滿教會牧師梅花女學校々長長田時行氏及元神戶教會牧師にして今回專ら鮮人傳道に從事する事となれる渡瀨常吉氏と共に二十一日夜着京若草町井出三郎氏方に宿泊來二十四日平壤に向ひ同二十七日夜より當地相生町京城基督教會主催の演說會に出席連日講演を爲す筈

海老名彈正氏演說

二十日夜着京したる海老名彈正氏は鐘路基督教靑年會の依賴により同會館に於て二十三日（金曜）午後八時より『人間の價値』と題する演說を爲す筈內地人の來聽も希望すと云ふ

中山所長の嚴父逝去

京城地方裁判所々長中山勝之助氏養父萬明氏は二十一日死去されしに付中山所長は二十二日東京麻布區霞町有馬方に滯在忌引中

陶器鎭南浦燒

黃海道安岳、長淵、瓮津、豐川及三和の數箇所には純良の陶土ありと之を利用せば精佳なる陶器を製出し得らるゝも未だ此に手を着くる者なかりしが今回鎭南浦在住富田儀作なる人同地の事業家麻生音波氏の贊助後援の下に前記各所に約七町歩餘の陶土を買收し鎭南浦漢頭山の麓に工場を設置し技術者としては九州の有用工業學校卒業生にして目下淸國にて工業學校の教師を勤めつゝある濱田義德氏を聘し優美にして高雅なる品を製作し營利を離れ損失をも忍びて成功を永遠に期する覺悟を以て今年中に事業に着手する筈なりと因に陶土は無盡藏なるのみならず從來高麗燒の原料として有名なるものなれば此事業にして成功せば朝鮮に美術的產物を出すこと〃なり將來頗る有望なりと

於青島の發達

於青島は仁川より百三十浬群山より三十六浬の海中にある一孤島にして忠淸南道の西海方面に於ける漁場なり日本漁夫は之れを金比羅岩と呼びて出漁期には非常に群集するため仁川群山と本島との間に毎月二三回日本形帆船の定期航海あり漁獲物は一個年約鯛八百圓、鰯五百圓、鰈三百圓、及び二千百圓、鯖五百圓、石首魚千圓、鰤千圓、其他三千圓等にして目下同島の在住者は鮮人百一戶、男二百二十三、女百九十一、內地人四十六戶男百四、女六十九にして將來益々發達する模樣也と云ふ

仁川港出入船舶

▲神代丸　廿三日大阪より入港
▲木浦丸　同　大阪へ向出港
▲蒼龍丸　同　芝罘へ向出港

內地巡禮日記（四）　水浪生

五月廿日、早朝京都を辭し大坂に到る今日も家族の爲に好案內者たることを發揮すべく、市中名所の巡覽に勉めた正午某友人に會す、薦めらるゝ儘に共に魚岩に行いて午餐を探れば、膳上に並ぶところの物其味總べて美亦た酷、東京出發以來伊勢奈良京都等を經る間に受けし味神經の手傷を玆に始めて癒すことが出來た。余婢に向かつて問ふ、當家にては朝鮮鯛を使ふや否、婢答へて曰く否、併し彼の女の說くところに因れば目下市內の大料理店にして朝鮮鯛を其板場に入れざるの家は當魚岩及外二軒のみと、嗚呼朝鮮米及朝鮮鯛、前者は堂島に於て後者は雜魚場に於いて何れも今日に在つて其雄を稱して居る、併し其實質に對して聲價の未だ著しく揚らざる所以の者は全く二者の移入を妨害するの關稅の存するが爲だ。魚岩を出てたる後ち四五の友人を會社及銀行に訪ね、取次の事務員及給仕等が總べて標準の邦語を用ゐ亦一人の大阪辯を弄するなきを知つた、知るべし一事が萬事大坂はモハヤ舊時代を脫した大阪人は決して贅六たるに甘んずるものにあらずだ。友人某君病んで郊外の別莊にあり、余家族と共に行いて君を其病床に訪ね君病を犯して款待に勉め、且つ余等に薦むるに一泊して蘆邊踊りを見んことを以てす、余厚意に甘んじ一泊と決す此夜家族と共に友人の內君に導かれ南新地の演舞場に赴き、八千代政彌其他の五十人を以て組織せる蘆邊踊りを見る。歌に曰く

心あらん人に見せばや津の國の浪花わたりの春景色いつも來べと木の花の、梅は雨の枝よりぞ、櫻もやがて麗しう含む色香の袖袂で手ひく手の汐合に田鶴も立ち舞ひ年々にしげる蘆邊の一ととり（以下略す）

「蘆花雪柳」之れ舞臺の正面に掛けたる額に書したるもの、蘆邊踊と其踊子等を包める當夜の全景のソレは悉く此四字に存す、南新地の繁昌亦た故ありと云はんか。序に記す、之れを某粹人に聞く、南の美なるは櫻花の如く北の艷なるは牡丹の如し、而れども慨らくは二所何れとも朝鮮米のソレの如く粒甚だ揃はず、若し夫れ新町に到つては彼の躑躅花の如く一見甚だ揃はずと雖ども、其百を呼ぶも二百を招ぐも粒良く揃ひて他の鑑賞に適す、アー機械製作の現代は平凡を意味す、玆に於てか平凡甚だ揃はざるが如き新町の南北兩者の間に介在して能く覇を稱する所以のもの決して偶然に非ざるを信ず。

▲茶袋▼

此頃大屋朝鮮鐵道長官の談として各地の新聞に載つてをるものを見ると、實に自分勝手な理窟を捏付けて、朝鮮鐵道の運賃低減に反對してをる、苟くも一國の長官ともあろう者が眞逆這麼無鐵砲な事も言ふまい、想ふに木葉役人の或者が長官の名を惡用したのではあるまいか▲反對の論旨を摘めば、朝鮮に來て居る內地人や又內地から來る者は金儲けの爲に鐵道を利用して往來するのぢや、殊に在鮮內地人は內地に於ける負擔を免かれて居るに拘はらず鐵道の運賃を値切るなどは虫の好い話だ又殖民地開發の爲め低廉を望むとすれば移民當時だけ特別の取扱をすれば可いと云つてをる▲如何にも在鮮內地人を馬鹿にしてをるではないか、內地の負擔まで背負つた上に民團の經營なんかがドウして出來るものか、金儲けの目的もなくして道樂に汽車を利用してをる馬鹿は恐らく文明人にはあるまいよ、金儲けこれが即ち殖民的の發展だ、そこに氣が付かずに矢鱈に愚說を並べるゴ當人こそ異にれ氣の毒千万と云はねばならぬ▲移民をする當時だけ特別の取扱をすれば可いなぞゝは、東拓の移民位に特別割引をしてやればよいとの思召しか、そりや亦聞ねぬ仕打と云はねばならぬ、モウ少し殖民政策に關する御研究があつて然るべしだ—ダ〜云ひたい事は多いが紙面に限りがあるから今日は此位にて御免。

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客（廿一日分）
乘車賃金　一、五〇一、九一〇
發送貨物　大四噸、〇五〇哩
到着貨物　一三五

▲龍山驛乘降客（廿一日分）
乘車客　二三六　降車客　二一七
乘車賃金　一一七、七九〇
貨物賃金　五四〇、一〇

(第三種郵便物認可) 明治四十四年六月二十三日 京城新報 (金曜日) 第七百十一號 (三)

京城 藝妓の半生(四一)
菊家 文之助(二)

藝妓の半生と云ふ優しい而して悲しい記念多き昔語りなるものが本文の主人公に至つて妙に角張つたものになつて終つて其の名に相應しからぬ評論めいたものになつたので讀者は嘸かし御迷惑の事と察する、併し筆者にして見ると乘りかゝつた船なるものになつたので此所でチョン切つて直樣彼れの半生の歷史に轉ることは出來ぬぢやないか少々殘り惜しい心地がする、讀者諸君議論好きな放蕩な弟を持つた位に考へ下すつても少し勝手な熱を吹かして頂きたい、讀者諸賢と筆者、切つても斷れない因緣があるのだから何も災難とた諦めなさい、と斷つて置いて扨て。

然らば彼れの性行は圓轉滑脫、玲瓏玉の如きであるかと云ふに決して左樣でない、才人に似合はず彼れには一貫した主張と信念とがある從つて圭角があること其の面の如くである、併し彼れは努めて其の圭角を顯はさぬ如に注意して居るが悲しい哉天性は爭はれぬもの談佳境に入り論熱して自我を忘却して談、論中の人となるに及んで平素の自制なるものは影を潜めて無我の我が盛んに活動する、此時此の際の彼れは談論其のもののみを認めて對手の何人たるかを意識せぬ、否意識する程に餘裕がない、此の刹那には富貴も權勢も彼れには何の權威も無い自尊心の旺盛なる彼れの如きは稀れである、併し乍ら彼れは才人である直ちに自己の自我の餘りに發展せることを覺るや否や顧みて他を言てハアハアハアと高らかに笑ふ雖然衷心決して自己の主張を棄てたのではないので、例令一刻たりとも藝妓たる自身が客と抗爭したことの非を悟りしが故に然う努めるのである、斯うした女だけに相對した一分間、然もホンの寸時の間ではある此人をして少々傲慢な女だと思はしめることがある、夫れは餘りに才氣が煥發する爲であるが彼れの瑕瑾いて言むれば即ち此の一事にある、彼れは猶は之れより大に活動せんとする前途を有するものであるから因緣因果の全部を棄て拔くことは用捨せねばなるまい、文之助曰く「私は病院生活と藝妓生活との他には社會に於ける生活狀態は何にも知りません、又知らうとも思ひませぬ」と、彼れは曾つて産婆たるべく病院生活を仕た事があるのであるが夫れは後の譚りとして此の京城花柳界の御大彼れは何處で生れたかと云ふに實に伊豫の今治である、前にも述べた如く實家は料理店であつた小兒の時の彼れは學校が嫌で歌舞音曲が好きで夫で水泳が好き木登りが好き喧嘩が好きと云ふ箸にも棒にも掛らん代物であつた八歲の時自ら强請んで舞子で出た本名の鬼千代を其儘藝名にして、初め彼れの父母は子なきを憂ひて鬼子母神へ願掛けして儲けたのが彼れであつた、其處で鬼の字を其の名に冠したのである、道理で人を食つてると思つたなぞは惡い洒落でムるぞ、如法の少女であつた爲め客も藝妓も鬼やん〳〵と綽名して鬼千代と眞面目に其の名を呼ふものはなかつたのである、舞子に出た後も如何にやんちやであつたかと云ふに或る日の事或る客の座敷に呼ばれ舞だ唄だとサン〳〵に苛められた揚句が「拙いナア」と糟を食はされたので口惜し紛れに突然其の客の右の腕に力限り噛み着いてボックリ肉を食ひ取つた事がある、眞に鬼子母神の授子たるに愧ぢずと云ふ可しであらう。

孫と祖父と美人

▽滑稽死金裁判 去る二十日京城區裁判所民事部法廷の前を通り蒐ると宮脇判事(田村書記あり)の聲として「其樣に孫を苛めずと可愛がつて遣つたら何うか」と說諭して居るらしきが聞へる、と續いて「イエ苛める處ではムいませんので私の方が苛められてるんで」と答へる聲が耳に入る仔細ぞあらんと傍聽席の人となつて聞く所に依ると祖父さんが原告となつて孫を被告に訴へたものだ原告の訴訟代理人として特許辨護士小川勝平氏が引受けて居る此の事件は曾つて堤重四郎と云ふ辯護士でも何でもないのに他人の債權を賣買名義で讓受け訴訟を行ふ人が例の如く讓渡名義で訴訟を提起した事があつたのだ相だが其の魂膽は炯眼なる喜頭判事に依りて看破され却下された因緣づきである訴名は預金返還請求と云ふので原告は當地櫻井町に住む阿部金吾と云ふ名は若そうだが實は當年七十五歲の棺桶の緣へ縋つてヤツト娑婆の風に當つて居る樣と云ふ老爺さまである被告と云ふのが此の老爺さまの實の孫に當る黄金町明金湯の主人阿部唯二郎と云ふのだ、話は事の起りに溯るが明治四十二年の春、被告なる唯二郎が大連の彩票を買つて五千圓のが當つた時三百圓を祖父さんの金吾に保養料として與へしにぞ金吾は之れを銀行に預けた然るに四十三年の九月唯二郎方に金子入用なりしより何時にても入用の際は返金すると云ふ預り證を入れて內二百圓を引き出して使つた其の預り證の但書には死亡費金とてその金の必要を感じたるより唯二郎へ向つて返金を請求するけれども返して與れぬからとて訴へたと云ふのだ、其處で孫の唯さんの之れに對する申立に因ると元々祖父さんの葬式金だから今は返さぬ死んでやれば耻かしうムるが私の祖父さん御覽の通りの老人なるにも似ず近來曾孫の如な美人を引き入れて目頭を釣り上げ其の女にアノ萎縮た身体アノ痩世帶から絞り上げられるとも知らず人の笑ひ物となつてるも思はず蕩け腐つて居る老樣さ加減を見ては決して金は渡さぬ渡した日には死んでも棺桶も買へませんからと云ふ之れを聞いた原告は成程宅に若い女は居るが決して色情關係は無いのですから證人として其の女を喚問あらんことをとの申請がある、然らば夫れを喚問せんと云ふので閉廷

●八八と舊惡露現 群馬縣人當時竹園町一丁目魚行商人門脇吉太郎(五〇)熊本縣人當時永樂町一丁目三十二番戶村上榮(二三)佐賀縣人當時若草町金丸今朝吉(二八)同內緣の妻中島きみ(二七)長崎縣人當時永樂町一丁目六十一番戶本娘きみ(十七)兵庫縣人當時鍾路通り坂本いせ(四)福岡縣人當時永樂町一丁目女髮結松尾とめ(三〇)の七名は二十二日零時三十分頃永樂町松尾とめ方に於て賭博の現場を南部署に檢擧され目下取調中なり因に金丸今朝吉中島きみの二名は共謀して安東縣より拐帶犯にて逃亡せし者にて其筋の搜査人物なりしと

●不良濟人少年 廿一日午後四時十分頃仁川平洞貿商靜觀利三二方に二名の支那人少年來り自轉車二輛を入質せんとなし居たる處を折から巡回の警官に認められ不審の廉あるより取調を受けたる言語の曖昧なるより尙嚴重訊問なしたる處仁川支那町燕南樓方湯昌鴻(十四)同湯昌鄀(十三)の兄弟にて同日本町四丁目自轉車業渡邊消吉方より一時間の約束にて借受けたるを其儘入質せんとなし居たると自白に及びければ早速本署に引致し嚴重說諭を加へ放還し自轉車は渡邊に引渡したりと

●淫奔女の駈落ち 長崎縣南高來郡北有馬村七二〇鬼山卯太郎の長女れ登(十七)は性來の淫奔者にて同郡西有馬村龍石名字堀戶池田菊太郎の長男密藏と宜い仲となり居たるが去る日の朝六時頃竈の下を焚き付け置いて駈落したり密藏は豫てより朝鮮へ行き度しと言ひ居りたれば或は大切の娘を連れ出して娼婦に賣るのでは無かと心配し居りと

●精神病者の家出 北米倉町古物商藤田廣吉妻つち(三八)は豫て精神に異狀を生じ居りしが二十日午後二時頃家出行衛不明の爲め其筋に保護願提出せりと

●判決二件 既報中谷字一郎(三八)の煙草密輸入犯は罰金十一圓に牛尾吉三郎(二六)の竊盜犯は懲役一ケ月に何れも京城區裁判所に於て言渡されたり

●悔悟の自白(六) 金波投

此時には金も多少あるし衣類もたくさんもつて居るので平氣の平左で三宮の高等下宿屋へ腰を据へ善後策を講じながら氣保養のため一夜芝居見物に出掛て棧敷に這入つて贅澤三昧で觀て居ると丁度新劇の不如歸で武雄に扮した金井という新俳優が目に留ると持前の虫がむら〳〵とこみあげてきてもうたまらないように成つたから茶子にふくませて部屋へ祝義をやると挨拶に出てきたのを一寸電氣をかけていて十二時頃芝居のはねた樂屋の裏口から男の手を引て下宿屋へ連れこんだ時の嬉しさ樂しさ妾しも隨分ごく〳〵どうさ役者ぶ氣になるとひうのは夫も先は男地獄であらゆる階級の女をたらして操を破らせた上にれ金をしばりとることを商賣にして居る寄手にかゝつたのだからたまらないよ其夜から殺し文句で妾を思ひのまゝにうれしがらせてからもう女房氣取りで翌日から毎日いりびたりにする〳〵本普を出してた金の無心す妾しが夢中に成つて居る最中だもんだからついいわれるまゝにとられて居たのよホテル以來ラシヤに成つて働いてこさへた金を金井のために巻きあげられて仕舞もう此上は衣類へ手のつくようになつたのをみかねて又宿の女將にしみ〳〵と意見をされて見ると初めて目が醒めて馬鹿らしくも又耻かしく今更後悔をする斗りで仕方がないから女將に身の振方を相談して頼むと幸ひ此家の懇意にして居る商船會社の船乘りで川林と云ふ男が一人もので今こそ山手に下宿をして居れど妻を迎へたら一戶を持つといつて恰好の女の世話を賴まれて居るが月給も多分に取るしれまへさんの容貌なら乾度氣にいるから嫁にいつたらどうですといつて與れるので其氣になり万事を女將に任せて幾日の後に其男の內緣の妻君と成つたのさ

●演藝だより

●壽座 非常の好人氣を博せる片岡松之助一座の二十三日代り狂言は前「誠忠義士劇」にして江戶淺草奥山勸兵衛亂酒の場より大石良雄十八ヶ條申開きの場まで幕なし十七場にして切は「梅川忠兵衛封切り」なりと云へば是れそは見物なるべし重なる役割は瑤泉院、女戾いろな、湯女れまつ、女郎梅川(片岡右衛門)こし元梅の妹れぬい、松平丹后守、女房れゑん(片岡卯左衛門)女房れしげ、勝田新左衛門吉良左衛、阿部豊後守(山村右內匠)こし元みざり、大石主税、女房れきし(寶川保)武林唯七、大工三太、三ピン小助(片岡松幸)神力市右衛門、不破數左衛門、仲居みの(片岡緑三郎)神崎與五郎(片岡松助)赤垣源藏(片岡美之助)横川勘平、吉良上野、本多佐渡守、丹波屋八右衛門(淺尾奥山)仲間軍助、彌十郎、吉田主水(市川鶴十郎)大高源吾、用人吉田要人(片岡呂昇)速水藤左衛門、用人由兵衛(片岡緑郎)鹽山左衛門、天野屋利平、清水一角(片岡長太郎)戶田局、小山田庄左衛門、土屋相模守、土屋治右衛門(中村飛雀)大石良雄、小山田喜內、鵜尾忠兵衛(片岡松之助)

●浪花館 落語、音曲、手踊等なり

平民文庫

▲井門支店の瀧子よりとして下の如き取消文だか白狀文だか來た▲妾の好ちやん田山はんを南山町の女に寢取られて氣が狂つたと書いてありましたが彼樣奴は好でもありませんよ而して其の苗字も田山ではない田中という本町の人で女は南山町一丁目のヒアホールの內のれひさという奴です妾の寂寞の邪魔ですから取り消して下され頼みます▲と云ふのだから取消します(係)▲先日の本紙に仲居頭と云ふ人が一腕に振られたと云ふので素破抜いた本町の〇田の春さんに關して面白いことがあります此の春さんにも皆春樣に一人好意を持つてる女があるデ春さん過ぐる日コッソリと其所へシケ込んで居るとも知らぬ店の番公二人此れもコッソリ同じ家へ出掛て居つた迄は好いが不幸にも廊下でバッタリ出會した主從意外の場所での對面「ハテ珍らしい對面ぢやナア」とも云へず少時は三人眼ばかりパチクリ暫時してから春さん番公に對つて曰く「賭博みは爲なさんなよ」(萬里眼)▲落し話を其儘だチト臭いぞ(小僧)▲六月十九日夜浪花館の平場の中央に十七八歲位の女連大形の浴衣がけて仲居らしき人と一緒に居た方の內に妾の親類の人に能く似てる人がありました住所氏名御存知の方は知らせて下さい(尋女)▲ヤレサテ覺束ない尋ね事かな此の後左樣な場合がありましたら遠慮に及ばぬ直接れ問合せなさい違つた所で失禮致しましたで濟むではないですかね(小僧)▲土地家屋賣渡生なる人より下の如き投書があつた掲げて御參考に供する▲京城府廳の事務の澁滯驚く斗りなり貴社內樣を知るや否而して土地の賣買などヨボの臨檢は一定の方針なき爲め甲ヨボと乙ヨボと意見を異にする四月初めに提出したる件今に片付かず大庭府尹其人は事務の監督をなせるか無責任ならずや責耐以て如何となす▲答へて曰く「チョンキナ〳〵」●(保)廿一日の夜仁川山手町鮮樓の前を通り蒐りし一紳士に突然與禮堂の飼犬三疋飛出し猛り狂ふて吠付たので紳士は度膽をつぶして鮮の門內に逃込たのを見た(通行の一人)▲廿日夜一富士の前の道路で同家の藝妓が手紙を落して狼狽て居たが見付らなかつたのを或人が拾ふた手紙の断片に今コンと鳴た狐が後は云はぬが花よ(拾た人)

●安奉線工事 進捗

安奉線[illegible]に安東縣、鷄冠山間四十二哩の假線れよび石橋子、本溪湖間四十七哩の改築工事は何れも竣功し過般來貫軌列車運轉を開始しつゝあるが鷄冠山、本溪湖[illegible]進捗し全線の隧道工事も全部導坑の貫通を終り目下側壁石垣アーチ煉瓦積等の諸工事に着しつゝあり架橋工事にあつては橋臺工事殆ど竣功を告げ[illegible]に至り其他停車場の新設乘降場及び貨物積卸場設備の如き大部分竣工せるを以て本年中には全線貫通の見込なりと

▲南大門驛乘降客(廿一日分) [illegible]

▲南大門驛荷扱高(廿一日分) 乘車賃金 一、五〇一、九一〇 發送貨物 [illegible]噸 到着貨物 大四噸 貨物賃金 [illegible] 一、三二五

▲龍山驛乘降客(廿一日分書) [illegible]

▲龍山驛荷扱高(廿一日分) 乘車賃金 一一七、七九〇 貨物賃金 五四、〇一〇

●諸公債諸株券現物賣買、迅速確實に御取扱可申候兼業
既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村徳七代理店 田中友吉商店
電話九九三 電略（タ）

健胃下腹丸（けんいかふくがん）
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九百四番◉千六十八番
振替口座京城十六番

土地建物鑛山株券賣買
一擔保及確實なる債權に對し低歩貸金す
一漢江上流に在る赤松長五六間のもの二十萬本賣物あり
一市内適當の場所にて印刷業老舗機械附屬品全部讓り物あり
一良質の石綿山黑鉛鑛歩止まり好き金鑛賣物あり
一水田畑及市内宅地割安の賣物あり
一電話賣物あり
小林藤商店
京城明治町三丁目　電話六五五番

複方 アンチヘブリン
TRADE MARK 感冒解熱特効劑
四季のひきかぜ、はやりかぜ、ねつ痛一切づつうの良薬
發賣元 京都市三条柳馬場角 川杉資善堂
藥價 二回分金拾錢 五日分金廿錢
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九〇四、一〇六八 振替口座京城十六番

内外科 入院隨意
小兒科
梅毒淋病
高井醫院
京城壽町三丁目 電話（二二六）
院長 陸軍々醫正 高井貞治

懷中良藥仁丹
仁丹に限る
渺々返る信頼の聲
之ぞ仁丹を、飲むことスグさま自然の證明 イザく御服用あれ
JINTAN 仁丹
朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

本品は貧血症、肺病及之に類似せる消耗性疾患、神經衰弱、病後の恢復期等に回復の卓効あるのみならず、下痢症に對し特有の効を有す
大瓶二圓 四十錢 小瓶一圓 送料八錢 ▲委細は説明書の無代贈呈す
飲むだけ血になる ボビナイン ボビナイン
横濱市境町 合資會社友田商店
振替東京一九三八番
朝鮮代理店 京城本町郵便局前 山岸天佑堂
振替口座朝鮮二〇三番 電話三二二番

直輸入毛織物各種 藤椅子冷蔵庫 藤寢臺及卓子 扇類 蚊帳 蛇の目傘 撃劍道具、柔道着 刀剣類、馬具一式 大學石鹸長崎製洗濯石鹸 船來空氣洋燈各種 火止石油機械用油各種 大弓同矢及附屬品
ノンパレル
火止石油特約店
京城本町三丁目 森安吉商店
電話四三〇番 振替口座朝鮮一五〇番

赤十字社總裁 閑院宮兩殿下御嘉納薬
愛國婦人會總裁 赤十字院長橋本子爵處方
胃腸肺病 原因療法
救世丸
強力なる消化、殺菌、防腐滋養の作用を具備し胃腸を健全ならしめ肺結核の原菌を撲滅し其他赤痢チブス等の諸傳染病を豫防するに偉功あり
宮内省侍醫岩佐男爵處方
婦人諸病 民間療法
壯婦丸
ヒステリー、子宮病、産前、産後、血の道一切、又めまい、頭痛不眠、便秘、神經衰弱等には男女共に偉功を奏す
○橋本救世丸は子爵橋本先生が日本赤十字社病院長として又陸軍々醫總監として常に胃腸肺其他流行病患者に使用せられ多年の經驗を積まれたる良藥にして特に日露戰爭には我軍將校下士卒の常備藥として又近時演習御用藥として大に特功を奏し戰後醫術に於て先進國たる獨逸より其處方を照會し來りたるに徴しても如何に其効力の偉大なるかを知るに足るべく候
○岩佐壯婦丸は我婦人病研究に造詣最も深き男爵岩佐先生が明治初年以來宮内省の勅任一等侍醫として從來婦人病に用ひつゝあるは何れも舊式なる漢法藥にして醫化學の進歩に基きたる良藥の未だ發見せられざるを憂へ特に處方せられ朝野の貴女紳士間に信用を博せるものに候
○販賣取次は本舖又は代理店へ申込まるべし
○藥價十錢 參十錢 七十錢 一圓 三十錢 一圓八十錢
○藥價は爲替又は振替貯金にて御送金ありたし
○全國有名なる藥店にあり
○効能書贈呈
東京深川八公園 本舖 合資會社 福井堂 電話浪花長五六九 振替東京二三六六
朝鮮京城代理店 古城贊化堂 本町四丁目角 電話一〇二

貨物運送取扱 關税貨物取扱
危險擔保付運送品 代金附貨物運送 貨物引換證發行
E通E
内國通運株式會社
京城支店 京城南大門驛前 電話七〇八番 電話一七九番
仁川出張所 仁川驛前 電話五一一番
釜山出張所 釜山驛前 電話六一六番
草梁出張所 草梁驛前 電話五二七番
龍山出張所 龍山驛構内 電話二〇六番

義齒術全般
京城旭町一丁目 齋藤英壽
電話一四一四番

資本金 一千萬圓
積立金 六百〇五萬圓
明治六年設立
株式會社 第一銀行京城支店
京城南山町三丁目
電話 二番 六一番 一二番
振替貯金口座朝鮮一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

牛乳の大王
朝鮮總督府醫院特定御用
京城大和町一丁目 平山牧場
電話一三三番

京城本町二丁目百三十銀行横
野田齒科專門醫院
電話一〇四七番

一日にして効能は現る
複方ルリン
りんびょうらい藥
緒方、高橋兩病院長有効證明
價 三日分 廿錢 七日分 四十錢 十四日分 七十五錢
本舖 日本大阪 高橋盛大堂
代理店 京城本町五丁目 木下大盛堂 同南大門三丁目 新井藥房
到る所の藥店に販賣す

▲▲▲▲ 諸紙諸帳簿 柳行李雨傘 襖紙文具類 名刺臺紙
右精々勉強可仕候間多少に不拘續々御用仰付被下度伏而奉願上候
●追て市内は電話にて御用命被下候へば早速持參可仕候
●地方は御注文次第迅速に御送付申上候
仁川新町三丁目
野田紙店
電話四四四番 電略（ノ）又ハ（ノタ）
振替口座（京城三六二番）

清正釀造元 政宗正則
上酒 小賣壹升に付三十錢 卸賣は特別割引可仕候
清酒 味淋燒酎釀造元 並に日用食料品雜貨類
京城壽町三丁目
中井酒造場販賣部 電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

專賣局販賣品
特約販賣店
土耳古 口金莨巻紙
SKS エスケーエス
京城辻屋 龍山曾田 木浦沖永 馬山西川 平壤盛昌洋行 鎭南浦宇津木 公州中芝

夜間診察は九時迄
入院隨意
六〇六號注射の需に應ず
仁川病院
電話一六番

木材の防腐劑
電柱、枕木、橋梁、土臺、根太、板棚、床板、羽目板、門塀、流シ、物干シ其他地中水中等に用ふる木材へ塗抹し其命脈を永久保持す
和製 プレザアリン
英國製 カルボリニウム
米國製 ストツプロット
獨國製 ウーチリン
和製プレザアリンは當商會特製品にして品質優良配合調和正確然して價格は舶來品の約半價なり●詳細説明書は御申越次第送呈す
發賣元 東京京橋元數寄屋町三ノ五 渡邊商會
電話新橋 二三八番

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

▲病室落成▼
▲入院隨時▼
時間 毎日午前八時ヨリ正午迄（毎日曜及大祭日休）月水金午後四時ヨリ六時迄
京城 旭町壹丁目六十七番戸（電話六九二番）
一般外科診療 鈴木外科醫院
前大韓醫院外科主任 鈴木謙之助
六百六號注射の需に應ずワッセルマン氏梅毒有無の診斷法を始む

薄口醬油
特約販賣 仁川京城 高雄支店

仁川山根町
韓國銀行舍宅下
養鷄場
●白毛冠黑色ポーランド
●ノーモルガン系黑ミノルカ
●スス系橫斑プリモースロック
●タツク系黑色オーピントン
●フエリッチ系銀色ワイヤンドット
●新輸入ウーダン
右種禽種卵御希望の方には分讓す

御料理向
特製 寶味噌
仁川本町三丁目
味噌製造 漬物問屋 たからや
電話七三七番

東京 澤庵萬問屋

瓦斯コークス販賣
京城黄金町高等演藝館隣
酒井組
電話一一四九番

芙江 公州 間 定期出帆廣告
芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時半船内御客様の娯樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ 六月中 滊船出帆廣告
海州行 安來丸 廿四日
海州丸 廿六日、三十日
鎭南浦行 三省丸 廿四日
三吉里富里浦屯串行 成歡丸 、　日
合資會社 秋田商會船舶部
仁川本町四丁目 電話一七三番七五〇番